

WS 1	ロシア・ウクライナ戦争と世界秩序の変動			
	【定員】 30名		【受講料】 2年・1年会員ともに17,160円 聴講生18,590円	
	『政治・経済・社会』【ワークショップ】国際関係		【時間】 毎回 15時00分～17時00分（計12回）	
概要	2022年2月のロシアによるウクライナへの軍事侵攻以後、国際関係を地政学や軍事力の対立という観点から捉える議論が広がっている。しかし、世界が抱える危機はそうした観点だけでは捉えきれない。表面的な変化の背景にある冷戦後の世界の構造的問題点を多角的に検討していく。			
回	月/日(曜)	会場	学習内容	講師名(敬称略)
1	10/16(月)	川崎市 生涯学習 プラザ	イントロダクション：ロシア・ウクライナ戦争と世界の課題	成蹊大学教授 遠藤誠治
2	10/23(月)		冷戦後秩序への移行の諸問題（1）	
3	10/30(月)		冷戦後秩序への移行の諸問題（2）	
4	11/ 6(月)		自由民主主義が抱える諸問題（1）	
5	11/13(月)		自由民主主義が抱える諸問題（2）	
6	11/20(月)		核兵器と核軍縮：未解決の問題と新しい課題（1）	
7	11/27(月)		核兵器と核軍縮：未解決の問題と新しい課題（2）	
8	12/ 4(月)		核兵器と核軍縮：未解決の問題と新しい課題（3）	
9	12/18(月)		核兵器と核軍縮：未解決の問題と新しい課題（4）	
10	1/15(月)		自由主義的国際秩序とグローバル・サウスの不満（1）	
11	1/22(月)		自由主義的国際秩序とグローバル・サウスの不満（2）	
12	1/29(月)		自由主義的国際秩序の変革へ	
連絡事項	テキスト：吉田文彦『迫り来る核リスク：＜核抑止＞を解体する』（岩波新書、2022年、税込み990円）は各自でご用意ください。その他、関連する資料をWSで配布します。			